

「自ら学び続け学び合う子供」ガイドブック

子供たちを受け身にしない

とことん学び続け、とことん学び合う人

西部教育事務所では、これからの学校教育に求められていることが、実際に各学校で行われている教育活動とどのように関わっているのか、より明確にしたいと考え、「自ら学び続け学び合う子供」を育てるために、日々の教育活動の中で意識し、取り組んでもらいたいことをガイドブックとしてまとめています。また、「別冊資料」では、【「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実】【指導案作成】について掲載しています。

教師が「教える」だけでなく子供自らが「学ぶ」にはどうすればよいか、まずは、私たち教師自身の意識を変えていくことが求められています。

ガイドブックは、西部教育事務所 HP に掲載しております。日々の教育活動にご活用ください。

なお、次ページには、ガイドブックに基づいた模擬授業研修会の報告を掲載しております。



小学校体育指導者講習会（体づくり運動系）

8月5日（金）に諸富文化体育館で、小学校体育指導者講習会が開催されました。伊万里市立大川小学校の森元絵美先生を講師に招き、実技研修を中心に、低・中学年を中心とした体づくり運動系のポイントについて様々なことを教えていただきました。参加された先生方は、授業づくりに使える引き出しがたくさん増えたことでしょう。

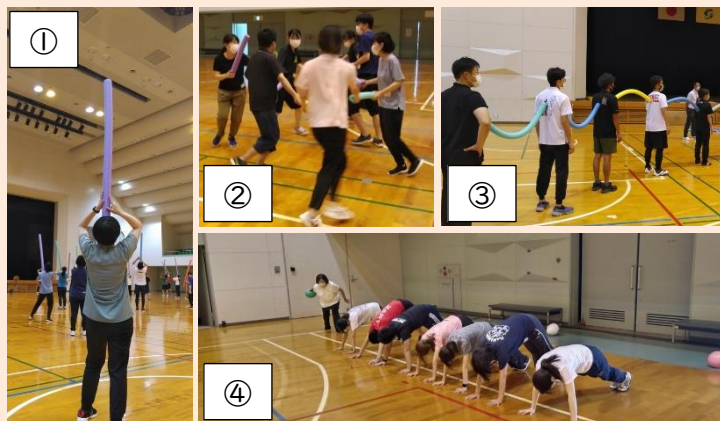
【「多様な動きをつくる運動遊び」に使う用具として2つ紹介されました】



・ポール（棒状浮き具）
100円ショップで購入でき、陸でも水中でも使うことができます。横や縦に切ることで、新しい用具に生まれ変わります。



・風船ボール
風船を好みの大きさに膨らませ、周りを布テープで巻いていきます。ポイントは、テープは短めに切って貼っていくことだそうです。



- ① 体に乗せてバランスをとったり、投げてキャッチしたり、ポールの上を歩いたり、個人の運動遊びを楽しまれていました。
- ② 「ねことネズミ」という遊びの様子です。ポールを持って輪になり、ねこ役の人がぐるぐるとネズミを追いかける運動遊びです。
- ③ じゃんけん列車の様子ですが、手をつなぐのではなく、ポールを挟んで行われていました。
- ④ 風船ボールを使った運動遊びの様子です。みんなでトンネルを作って楽しまれていました。

実際に用具を手にとってみて欲しいです。たくさんのアイデアが浮かびますよ。ぜひ取り組んでみてください。

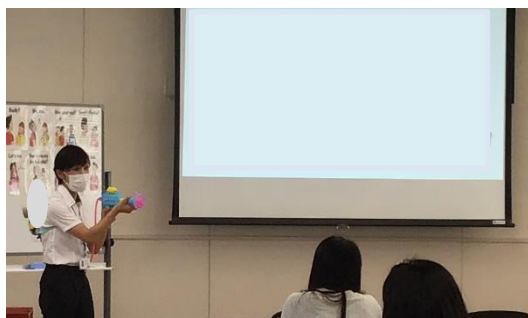
「自ら学び続け学び合う子供」ガイドブックに基づいた模擬授業研修会（小学校外国語科）

8月2日（木）に武雄総合庁舎で、「自ら学び続け学び合う子供」ガイドブックの模擬授業研修会を開催しました。西部教育事務所の指導主事が行う小学校6年生外国語科の模擬授業に参加してもらうことで、「自ら学び続け学び合う子供」ガイドブックに示した授業作りのイメージを共有することができました。

模擬授業より 小学校6年生 外国語科 「夏休みの思い出について、伝え合おう」

①つかむ

子供達が単元末に夏休みのことを話したくなるように、スライドや実物、動画を提示しながら、教師が夏休みの思い出についてスピーチをしました。



また、子供達と共に、単元ゴールと今日のめあてを何にするかを考えました。

②やってみる

「過去形」という言葉を使わずに、過去のことを話していることを伝えるために、白黒の絵カードとカラーの絵カードを使う工夫をしました。



場所に関する英語について、子供達自身で言える単語と言えない単語にまずは分けることで、子供達自身が今できていることとできないことを自覚できるようにしました。

③やってみる

自分が本当に夏休みに行った場所について、言ったり聞き取ったりしました。

中間指導では、英語で言いたかったけど言えなかったことを全体で考えたり、何とかして伝えよう、何とかして聞き取ろうとする態度を共有したりしました。

④振り返る

今日の授業のまとめを行い、振り返りシートを使って、振り返りを行いました。

「次はもっと英語で言えるようになりたい。」「次はもっと友達のことを知りたい。」という意欲が高まりました。

グループ演習「ガイドブックに基づいた本授業の工夫点を考える」より

スライドや実物、動画を提示しながら、聞き取れない児童の不安感を取り除く工夫があった。

go と went の違いを絵カードの色使いで表すことで分かりやすかった。

「何と言ったらいいかな?」「どんな表現が使えるかな?」と教師が問うことで、児童が自分事として取り組みようとしていくことができたと気付いた。

児童の言葉でゴールを設定され、ゴールが明確で分かりやすい。目指す所がはっきりしていて振り返る時もとてもスムーズになる。

1 回目のやり取りの後に、全体でシェアリングして2 回目をしたことで、自信をもってやり取りできた。

めあてに沿った振り返りを行うことで、児童は自分の現在地を確かめることができ、次の学びの意欲につながることが分かった。

出前授業を行います!!

この記事を見て「模擬授業をぜひ受けてみたい。」と思われた先生方! 西部教育事務所の指導主事が希望された学校を訪れ、模擬授業を行います。希望される学校は、西部教育事務所までご連絡をお願いします。